

栄光南科

行政院の第2回政府服務品質獎を受賞

入居企業の経営リスクの低減を目的とし、南科管理局では開発当初から積極的に災害対策システムの構築に努めています。2001年には合同緊急対応プランを策定、2003年には合同緊急対応組織を立ち上げ、無線システムも敷設しました。また、2005年から2008年にかけての期間に国内外の技術や経験を参考にして個人用携帯端末、第三代携帯電話機、地震計の測定データ、洪水監視システム、地理情報システムを組み合わせた「緊急対応支援専門システム」を開発、2010年6月30日にはこの「専門システム」に基づく「南科災害リスク統合対応システム」が行政院の第2回政府服務品質賞を獲得しました。

園区の環境報告書が「2010台湾企業永續報告獎」を受賞

園区の持続可能な発展を目指す南科管理局は、これまで国内外でもなかった科学園区による環境報告書「2009年南部科学工業園区環境報告書」を編纂しました。2009年の園区の各種環境データがまとめられたこの報告書では、園区環境の現状と管理の実態について客観的な数値に基づく分析が行われ、南科の環境保護に関する取り組みの経験と成果が紹介されています。環境保護と持続可能な発展にける南科管理局の意気込みは、この報告書にも現れているのです。南科管理局は政府行政機関として唯一この「2010台湾企業永續報告獎」に応募し、選考委員会による審査の結果、11月19日に非営利組織永續報告特別賞を授与されました。

労工委員会による「2009年職場安全健康ウィーク活動」で優等獎を獲得

「全国職場安全健康ウィーク」活動への積極参加を通じて政府機関や民間企業に安全、健康に配慮した快適な職場作りに取り組んでもらうため、労工委員会は職場の安全・衛生普及活動で優れた業績を挙げた組織や企業を選抜してこれを表彰し、職場安全に対する国民の意識を高めようとしています。

「2009年全国職場安全健康ウィーク活動成果」へは44の機関と企業から応募があり、南科管理局は2年連続で「優等獎」に選出されました。5月4日、台北市自由広場会議センターで開かれた2010年度全国職場安全健康ウィーク「健康リスクに関するアセスメント」シンポジウムの会場では、労委会の王如玄主任委員が直々に優等獎の授与を行い、安全で健康的な労働環境作りに向けた南科管理局の努力を高く評価しました。

労工委員会による2009年度労働検査機構業務評定で甲等を獲得

労働検査機構を督励し、その業務能力の向上により労働災害を減らすとともに、労働検査機構の健全な発展を促すため、労働委員会では毎年定期的に労働検査機構の評価を行っています。南科管理局は2009年度労働検査機構業務評定で乙組唯一の「甲等」を獲得。これは3年連続の快挙です。11月16日の2010年度全国労働検査員作業報告会の席で労委会主任委員の王如玄による「甲等」授与があり、園区の労働検査業務に対する南科管理局の貢献が表彰されました。



▼ 労働委員会主任委員・王如玄(左)による「職場安全健康ウィーク活動」優等獎授与(2010.5.4)



▼ 蕭萬長副總統(左)直々に永續報告獎を授与(2010.11.19)



▼ 労働委員会主任委員・王如玄(左)による労働検査甲等獎授与(2010.11.16)